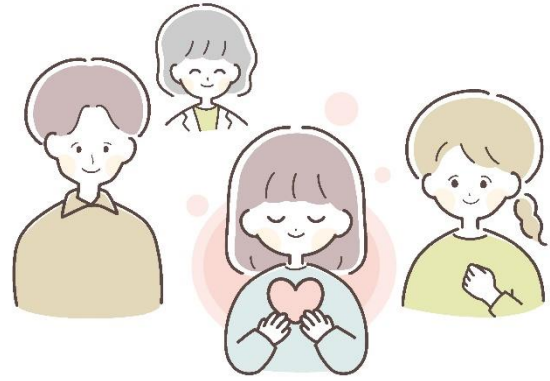


ひきこもりに寄り添うセミナーを開催しました

神奈川県立青少年センターとの共催でヒューマン・スタジオ代表兼相談員の丸山康彦さん、つぼみの会世話人の橋本良子さん、花きりんの会世話人でアリビオ会員の佐藤礼子さんに登壇いただき、講演会を開催しました。

講演会では、ひきこもりを経験されたのちにヒューマン・スタジオを設立され支援活動を行う丸山さんから事前質問の回答を交えた内容で、本人と家族それぞれに葛藤があること、対応の考え方など丁寧に説明



明いただきました。家族会世話人のお二人を交えたパネルディスカッションでは、それぞれ所属する家族会について成り立ちや家族会への思い、相談窓口への要望、多発する災害に備えてひきこもり当事者が利用できるような避難場所についてなど当事者家族ならではの視点でお話をいただきました。質疑応答では、講演やパネルディスカッションを受けて、多くの質問が寄せられ、どの質問を選択するか登壇者お三方がとても悩んでいらっしゃる様子でした。その中で、「家族会を立ち上げたが参加者が集まらない、どのように周知したらよいか」との質問があり、お二人が所属している会の周知方法や来てくれた人を大切にすることなどについて答えていただきました。相談機関に一石を投じていただいた「家族へ相談窓口を知ってもらう有効な広報はどのようなものか」との質問に、『親にもエネルギーがない。公共機関や目につきやすい場所にわかりやすいパンフレットなどが置いてあるとよい。その時に活用できなくても持っていれば後からでも活用できる。』という答えには窓口対応の丁寧さはもちろんのこと、広報についても再考しなくてはならないと気づかせていただく機会となりました。

- | | | |
|---|-----|---------------------------------|
| 1 | 日 時 | 令和8年7月24日（金）
午後1時30分～午後3時40分 |
| 2 | 場 所 | 秦野市本町公民館 多目的ホール |
| 3 | テーマ | ～支援の入り口・家族に寄り添う～ |

- 4 対 象 ひきこもり状態にある方やご家族、関心のある方
相談機関や民生委員など相談支援に携わる皆様など
- 5 出席者 68人
- 6 動画配信 この講演会の配信はありません。